

湯中央新聞

發行日(不定) 每月三回
 編輯印刷 小松彌八
 兼發行人 小松彌八
 福島縣石城郡湯本町字湯本
 字三國四十六番地
 發行所 湯本中央新聞社
 紙代一部五錢(月十錢郵稅共)
 廣告料五錢(二字一錢) 一行十五錢

新年之辭

回春之御慶芽出度御祝ひ申目にする傾向にある爲め自ず。然金廻りが不如意となりま即ち使われに生れて来た金

先以愛讀者皆様の御幸福を御祈りします。次に本紙も昨年十月孤々の聲を上げまして茲に初めての御正月を迎へました。願みれば其間幾多の難關に逢ひましたが幸ひ親愛なる皆様の御懇篤なる御援助を賜りまして恙く迎春の賀齢を重ね得ました事を衷心から御禮を申し上げます。

時今緊縮治下に生存する我々等國民として華美なる迎新の意を表する事は謹んで御遠慮申上げ甚だ質素恐入ります。が爰に單なる赤誠を以て年始の御祝詞を述ぶる次第であります。却説我が國の問題であつた金解禁もいよ／＼實行せられたので記者は正に景氣が直る事請合ひと思ひます。要するに銀行始め多くの金持ちには可成貸し出しを控へらむ事を望む所以であります。

然金廻りが不如意となりま即ち使われに生れて来た金す從つて愈々不景氣は深刻其のもの金庫の奥に仕舞ひに成るばかりであります。相當信用出來得るもの亦はん上等の衣類も筆筒の中に相當の保證人あるもの若し仕舞ひ込まれて居ては筆筒くは相用の擔保存あるものの肥しです。には來る可く目一杯に融資斯く云ふ所に矛盾した政策貨付けをして流通資金の富が多くある爲め世の中が裕を圖り以て産業の發達にまならないものになり勝ちで勉めなければ必ずや景氣はす乃ち物事總てを有意義に挽回し仍て地方の産業の進活用せよ必用のないものは展を見得らるゝこと勿論併造るな金持ちは有つても無失業者も自然救済し得るくつても良い自動車や寶石等國民として華美なる迎新の意を表する事は謹んで御遠慮申上げ甚だ質素恐入ります。が爰に單なる赤誠を以て年始の御祝詞を述ぶる次第であります。却説我が國の問題であつた金解禁もいよ／＼實行せられたので記者は正に景氣が直る事請合ひと思ひます。要するに銀行始め多くの金持ちには可成貸し出しを控へらむ事を望む所以であります。

昭和庚午五年
 壹月元旦

(磐山生)

謹奉賀新年

家中揃つて

健康で

親切で

品扱を丁寧に

仲善く

ゆ快に

精一ハイ働かう

東郷襖一手販賣... 値段が安くて... 丈夫... 無類

各國自轉車販賣

建築請負

氷問屋

高崎屋商店

電話一〇一番

青木齒科醫院
 湯本町
 川

湯本信用無盡株式會社
 電話四〇一七番

前衆議院議員

比佐昌平
木村清治

縣會議員

鷺清昇
野崎滿三
鈴木辰三郎
古川傳一
山崎吉平
若松美三

植田水力電氣株式會社

金成通

石城郡錦村

湯本町長

小泉三代喜

湯本校長

前川三省

湯本郵便局長

鯨岡潔

湯本消防組頭

井坂千代松

湯本町會議員

木村德三郎
鯨岡愿道
比佐源造
松繁庄一
鬼澤八百松
宮本利一郎
大和田主馬造
比佐賢司
石川德壽
小井戸大次
鯨岡賢司
若松孝平
渡邊長作
矢吹佐市
小野福二郎
上川才松
矢吹莊司
村上六平

入山立國勞動自治會

會長 松繁庄一

矢吹自動車運輸部

矢吹莊司
從業員一同
湯本町水ノ谷

石城郡第一區
石城郡第二區
石城郡第三區
石城郡第四區
小學校長組合

平町會議員一同

平町木材商業組合一同

平町藝者屋組合一同

東部電力株式會社

平營業所

四ツ倉銀行組合

湯本區會議員

生田目嘉清
須藤熊雄
若松孝平
若松修一
高橋勇五郎
西原末吉
佐藤德兵衛
渡邊渡
御代富彌
後藤利吉郎
金成嘉吉
鯨岡誠祐
矢吹莊司
村上六平
小頭
鯨岡賢司
白石猶藏
九頭見清市
若松幸三
赤津清五郎
小井戸庄松
金子庄兵衛
佐藤貢
鈴木道太郎
坂本一
永山善彌
箱崎幸平
橋本春吉
山口保

湯本在郷軍人分會
陸軍豫備少尉
正八位富樫勝秀

湯本青年訓練教官
陸軍豫備少尉
正八位草野友親

湯本運送株式會社
社長 長岡義守

湯本消防組
井坂千代松
顧問 渡邊長作

若松利惣次
若松修助

特別大勉強
建具職
鈴木末太

湯本横町

大入御禮

湯本座

座主 青木兼次郎

大入御禮

三函座

座主 白石初太郎

青木齒科醫院

湯本信用無盡株式會社

新衣類古洋服
小供和洋服仕立物
ウスキネ販賣

中島商店

中島仲次郎
湯本横町

會田整骨院

湯本町學校通り

金子西洋洗濯店

湯本町成田山下

渡邊表具店

湯本表町横町

カフエー

小乃家本店

小乃家支店

湯本横町
上町

ニカスケツト

湯本支店

湯本座前

鋸製造販賣問屋

竹田儀平

平六丁目

針術専門醫
諸病に効あり
貧困者には治療半額若く
は無料
福島訓盲院出身

有田

湯本上町

吳服太物古洋服

質商若松忠兵衛

湯本町上町

湯本町の名物男
片寄金作氏

湯本の名物男新富士屋片寄
金作氏は從來裏町に於て奮
闘努力賣大に勉勵中の所今
般シヨ玉〇印を貯め込み湯
本座前に理想の店舗を新築
移轉開業益々業務擴張せり
因に至る所不景氣風に襲わ
れ閉店夜逃喰込み轉業等の
事實を見聞きしつゝあるに
今日片寄君の如きは立志傳
中の人として郷土に誇るに
足る勤勉家として賞賛に價
する人である。今後尙大に
勉強廉價販賣顧客本意に親
切第一と氏獨特のヒョウキ
ン者を賣り物に良品多賣を
旨とする由に付未來はホラ
成金の君をいろは四十八戸
前も建てる事であらふ
電話三十七番

牛乳の御用は
牛乳商
大平菊次郎
湯本石畑

大平菊次郎

衛生に注意し配達も迅
速に致します

◎移轉廣告◎

現在 平町十五丁目十二番
地二十三夜様前通り
警察署前

代書業佐々木庸二

從來紺屋町に開業中の御厚
情を謝す此後も相變らず御
引立を祈上候

先づ經濟は燃料の文化

木炭コークスの代用品

地方特大倉煉炭湯本工場
石炭木炭問屋
專賣大倉乾留練炭特約店

山崎武賴商店

和合屋
常磐線湯本町

有隣生命保險株式會社

國華徵兵保險株式會社

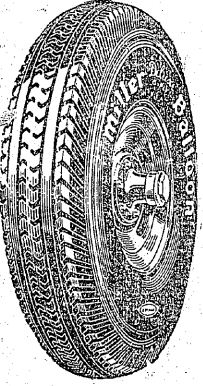
帝國火災保險株式會社

鈴木稻實商店

代理店
湯本町 電話三一三番
保險主任 大山經義

各種自動車部分品附屬品並ニ修繕ノ御用ハ

MILLER TIRES



平サービステーション

平町驛前 電話六一二番

東洋第一の伊藤パン總本家

四ツ倉町立身 佐藤一二

伊藤製麵麩所
外店員百名 東京市本所龜澤町二ノ六
電話黒田74九十八番

良品廉賣に勝る商略なし

磐城セメント會社特約店

和洋銅鐵 釜屋商店

磐城平 電話九番 一三九番

確實敏捷は釜屋の生命なり